

製本のススメ

Vol. 194

秋空高く晴れ渡りと歌いたくなるような季節になってきました。虫の声も賑やかですが、今年も子供たちの声援は聞こえません。毎週日曜日にはどこからか元気な声援が聞こえたのは2年前ですね。ウィズコロナの新しい生活は、人とのコミュニケーションが無くなっていくのでしょうか。

今回も**製本工程から見た造本企画の注意点**のシリーズ⑦です

今回は【リング冊子】について主だった点をお話ししましょう。リング加工というとカレンダーやノートが主な製品です。開閉しやすく表紙を裏側へ回せるので機能性にも優れています。カレンダーの場合にはペラで丁合を進めて行きますが、ノートのような冊子の場合には折丁で加工を進めていく場合もあります。いずれの場合も**四方断裁をします**ので、特に折丁合で加工を進める場合には、**ノド側にも裁ち落とし用のドブが必要です**。

またペラ丁合での加工の場合には、面付の注意が必要です。一枚の用紙に同一版が掛け合わされているのであれば問題はありますが、違う判を掛け合わせる場合には安易に面付せず**加工会社と必ず打ち合わせをしておきましょう**。**加工会社の設備により丁合加工なサイズが変わります**。最悪の場合には手で丁合をするという事になりかねません。見積もりを取る場合には、予め印刷面付も伝えておくと双方の勘違いもなくトラブルが防げます。

リングの種類も幾つかあります。らせん状にグルグルと巻いている「スパイラル」2本のワイヤーが穴に入っている「ダブルリング」素材が紙製のペーパーリング またセルロイド製もあります。それぞれに利点・欠点がありますので用途に合わせて選んでおきましょう。**弊社ではダブルリングのみ扱っています。カレンダーやノート等に最適で現在ではスタンダードな加工です**。さて卓上カレンダーの場合は台紙(スタンド)が付属します。形は様々ですが、薄い用紙では役に立ちません。1冊の枚数にもよりますが4/6判換算で200K~300kは見込んでください。紙目も敢えて逆使いの場合が有りますので注意してください。



Tea break

電車の発車時刻は正確なのに 飛行機の発着時刻は微妙にずれている事があります。実は飛行機には二つの運行時間が有り、車輪が回り始めてから着陸して車輪が止まるまでをブロックタイム、飛行機が地上を離れてから再び地上に戻るまでをフライトタイムとしています。つまり飛行場内を飛行機が10分くらいウロウロしていても、それは出発という事になるそうです。ちなみにパイロット達の飛行時間は、フライトタイムで計算されるそうです。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本